

「ほめて育てる」って言われても
どうすればいいの？



子どもの自尊感情を育みながら様々な行動を伸ばしていきましょう

● 「どこ」をほめたらいいの？

解決のヒント

- ・子どもに身に着けてほしい、増やしてほしい行動です。
- また、ほめるところは、できた時（ゴール）だけでなく、できるように頑張っている行動もほめましょう。
- できるようになる前の行動を具体的にほめることで、子どもの行動が次につながる事が期待できます。
- 例) かず君は、おもちゃの片づけを練習しています

「ロボットを片づける」 「赤い車を片づける」 「おもちゃを全部片づける」

できるように頑張っている行動	できたところ（ゴール）
・ロボットを片づける	・おもちゃを全部片づける
・赤い車を片づける	



親が子どもの行動に対して前向きな励ましを伝えることで、子どもは良い行動だと理解でき好ましい行動が増えることが期待できます。子どもはそのような状況になると親の注意を素直に受け入れやすくなるでしょう

● 「どう」ほめたらいいの？

解決のヒント

- ・ほめる行動を事前に決め、そのセリフを考えてみましょう。
- 「どう」ほめる？→具体的に何が好ましいか伝える。
- 「いつ」ほめる？→気づいた時に、すぐほめます。
- 例) かず君は、おもちゃの片づけを練習しています

「ロボットを片づける」 「赤い車を片づける」 「おもちゃを全部片づける」

できるように頑張っている行動	できたところ（ゴール）
「かず君、ロボットを片づけられたね」	「かず君、おもちゃを全部片づけられたね」
「かず君、赤い車を片づけられたね」	



静かにする場面など、言葉で伝えるのを控えたい場合には、「微笑む・ハグ・グッドのサイン」など、子どもに伝わるように好ましい行動を認めて伝えましょう。

体験記 「おはなし会」に参加しました

(男の子4歳)

子どもは食事の途中に、ウロウロしていました。注意することが多く、大変疲れる時間でした。

「おはなし会」に参加すると、私と同じような経験をした人もいて安心しました。すでに「前向き子育て」を試したママから「ほめるようになって、食事中が楽になったよ」「食卓に来た時からほめると良いよ」などアドバイスをもらいました。託児もあるので、いろんな人とゆっくりと話ができ楽しい時間でした。これだったら家で試してみようと思える内容だったので、すぐに実践できました。最後まで座っていた時にほめるだけでなく、子どもが食卓に来た時からほめて「もう少しで食べ終わるね」などと励ましました。時々食事中に立つことがあります。子どものできている行動をほめていると、注意も聞いてくれるので、なるべく励ましてほめていこうと思います。食事の時間のストレスが減りました。まだまだ悩む場面が多いので、機会があれば「おはなし会」に参加したいと思います。

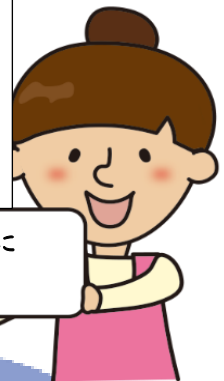
子育てのコツ



具体的にほめましょう

(子育て手帳 P. 20 を参考にしてみましょう)

できたこと(増やしてほしい行動)を見つけたら、その場でほめます。「すごいね」「さすがだね」というほめ言葉もありますが、子どもが良い行動をできるように、子どもに近づいて具体的にその行動をほめます(子どもの行動をほめる時も教える時も、子どもの目の高さに合わせると伝わりやすくなります)。



定期便の内容を自分の子どもに合わせて考えてみましょう

前向き子育ておはなし会

1回目

「上手なほめ方としかり方」

- 日時:6月26日(月)10時~11時30分
- 場所:フレアス甘木(朝倉市甘木64-2)
- 講師:福岡県立大学 江上千代美先生
- 申し込み:前向き子育て応援事務局 080-6439-1851(水城)

子ども未来課

(託児が必要な方は申し込みの際に伝えてください)

※「子育て手帳」は、市が開催する「おはなし会」に参加いただいた時にも配布しています。



今月の定期便についての感想や質問をお聞かせください。



市の「前向き子育て応援事業」の情報はコチラ

■お問い合わせ 子ども未来課 子育て支援係 ☎ 28-7568

(前向き子育て 担当 石橋)

科学研究費助成事業(責任者 福岡県立大学 江上千代美)

無断複写・複製を禁ず